

【主担当部局：県土整備部】

めざす姿（令和5年度末での到達目標）

公共事業の実施プロセスの公正性・透明性を確保し、事業を適正かつ着実に実施することにより、公共事業の成果が県民の皆さんに届き、公共事業への信頼感が向上しています。

| 主指標 | | | | | | |
|----------------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|
| 目標項目 | 令和元年度 | 2年度 | | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 公共事業の 適正化率 | | 100% | | 100% | | 100% |
| | 100% | | | | | |
| 目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方 | | | | | | |
| 目標項目 の説明 | 「三重県公共事業評価審査委員会」と「三重県入札等監視委員会」の調査審議において適正とされた割合の平均値 | | | | | |
| 3年度目標値 の考え方 | 公共事業は、実施プロセスの公正性・透明性を確保するとともに、事業を適正に実施することが必要不可欠であることから、目標値を100%としました。 | | | | | |

| 副指標 | | | | | | |
|------------------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 目標項目 | 令和元年度 | 2年度 | | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 公共事業の平 準化率 | | 80.0% | | 80.0% | | 80.0% |
| | 75.0% (30年度) | | | | | |
| 入札参加者の 地域・社会貢献 度 | | 85.0% | | 86.0% | | 88.0% |
| | 84.0% | | | | | |

現状と課題

- ①公共事業評価については、「三重県公共事業評価審査委員会」における調査審議により公共事業の適正化に取り組んでいます。引き続き、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した評価を行い、公共事業の適正な執行に取り組む必要があります。
- ②入札契約制度については、「三重県入札等監視委員会」の調査審議をふまえ、制度の改善、適正な運用に取り組んでいます。引き続き、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した制度の改善等に取り組む必要があります。

- ③地域の建設業は、県民生活に必要な不可欠な社会資本の整備・維持修繕はもとより、地域の安全・安心や雇用の確保など、重要な役割を担っています。しかしながら就業者の高齢化、若年就業者の減少等による担い手不足や建設投資の大幅な減少に伴う経営の不安定化等の課題に加え、働き方改革や生産性向上等、担い手三法の改正もふまえた新たな課題にも対応する必要があります。このため令和2年3月に策定した「第三次三重県建設産業活性化プラン」に基づき、入札契約制度の改善を中心に取組を進めています。
- ④電子調達システムなどの安定運用を図るとともに、設計積算システムの更新業務を進めています。
- ⑤新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、工事現場や事業所における感染予防対策の周知徹底を行うとともに、受注者から申出のあった工事一時中止や工期延長などについて適切に対応しています。引き続き、コロナ禍においても同感染症対策を図りながら、遅滞なく社会資本の整備・維持管理を進めていくために、デジタル化・スマート化を進め、非接触・リモート型の働き方への転換等を図る必要があります。
- ⑥県発注の公共工事の受注者に対する不当要求等の根絶に向け、不当要求等が発生した場合の体制などの整備を進めるとともに、更なる取組として、警察や建設業界等と連携した組織の設置などについて検討を進めています。

令和3年度を取組方向

- ①「三重県公共事業評価審査委員会」の調査審議を受け、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した事業の評価を行い、適正な執行に取り組めます。
- ②「三重県入札等監視委員会」の調査審議を受け、公共工事の公正性・透明性を確保しつつ、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した入札契約制度の改善、適正な運用に取り組めます。
- ③地域の建設業が未来に存続し、その役割が果たせるよう、「第三次三重県建設産業活性化プラン」に基づき、担い手確保や労働環境改善の取組として週休二日制工事の試行拡大、生産性向上への取組として施工時期の平準化およびICT活用工事による i-Construction の推進などの各種取組を進めるとともに、これらの取組の拡大を市町へ要請します。また、ICT活用工事の拡大を図るため、普及が進んでいない事業者に対して、民間企業による支援などを検討します。
- ④公共事業の適正な執行のために、電子調達システムや設計積算システムなどの安定運用を図ります。また、新たな設計積算システムの更新により、業務を効率化できるよう、現システムでは手作業で行っていた積算を自動化・省力化する機能や、積算基準の改定に迅速に対応する機能を付加し、令和3年度中の運用開始をめざします。
- ⑤コロナ禍においても遅滞なく社会資本の整備・維持管理を進めるため、対面での接触を回避しながら移動時間等の削減が可能となる、ウェアラブルカメラやタブレット等を使用した遠隔臨場やWeb会議等の活用、生産性向上を図るためのBIM/CIM導入に向けた3次元データの活用拡大の検討など、データとデジタル技術を活用し、DXの推進に取り組めます。
- ⑥県発注公共工事の受注者に対する不当要求等の根絶に向けた対策を引き続き実施していきます。また、対策については適宜改善するとともに、定期的に検証し継続実施に向けた取組を行っていきます。

主な事業

①公共事業評価制度事業【基本事業名：40701 公共事業の適正な執行・管理】

予算額：(R2) 743千円 → (R3) 726千円

事業概要：「三重県公共事業評価審査委員会」を開催し、公共事業の再評価・事後評価を行うことにより、公共事業を取り巻く状況の変化に対応し、適正な執行を行います。

②入札等監視委員会開催事業【基本事業名：40702 公共事業を推進するための体制づくり】

予算額：(R2) 396千円 → (R3) 396千円

事業概要：「三重県入札等監視委員会」を開催し、公共工事の公正性・透明性を確保しつつ、公共事業を取り巻く状況の変化に対応した入札契約制度の改善、適正な運用を行います。

③公共工事設計積算システム事業【基本事業名：40701 公共事業の適正な執行・管理】

予算額：(R2) 135,881千円 → (R3) 164,258千円

事業概要：設計積算システムについて、業務を効率化できるよう週休2日制工事やICT活用工事に係る積算を自動化・省力化する機能や積算基準の改定に迅速に対応する機能を付加し、更新を行います。